

山行報告

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 森本

山名	諸羽山・大文字山	山行名	例会
ルート	諸羽登山口→諸羽山→柳山→蔭山→毘沙門山→大文字山→経塚山→毘沙門堂		
山行日	2024年4月7日(日)	天候	晴れ
参加者	リーダー：森本 サブリーダー：山内 男性：佐々木、山田、宮内、小川、西川 女性：染矢、玉井、伊藤(多)、多田、森田、米田、高山、田中、鳥山、山本 合計：17名		



ルート概略図

コースタイム					
地名		時：分	地名		時：分
JR山科駅	集		毘沙門山	着	10：10
	発	8：00		発	10：20
諸羽登山口	着	8：20	大文字山	着	11：15
	発	8：35		発	11：50
諸羽山	着	9：00	経塚山	着	12：10
	発	9：10		発	12：23
柳山	着	9：20	毘沙門堂	着	13：20
	発	9：25		発	
蔭山	着	9：35		着	
	発	9：45		発	

山行報告

合計時間 5時間 20分 (休憩約 1時間 20分) 距離 9.5km 登り 624m 下り 578m

山科駅から洛東高校まで安朱川沿いの「区民の誇りソメイヨシノ」は満開。疎水を川上に向かうと菜の花の黄色と桜と青空が迎えてくれる。疎水はトンネルに入るがその上に 1 座目の諸羽山が見える。登山口の公園から南に山科市街が一望でき左は醍醐山、右は稲荷山に連なる山々が宇治川まで続いている。

急坂を登った諸羽山 (220m) から柳山 (261m)、蔭山 (302m)、毘沙門山 (381m) と高度を上げながら北に縦走する。山科方面の展望が時折あるが一瞬琵琶湖が見えるポイントもある。雨社から如意越えを歩き大文字山 (465m) で昼食。天気は良いが明石大橋までは確認できない。京都トレイルとは 10 分程で別れて進み最終 6 座目の経塚山 (400m) に到着、本日の目標達成で拍手！ 下山は後山階陵跡登山口に向かう。この谷は 2018 年台風 21 号で通行不能になったところで、今も倒木をくぐったり跨いだり迂回したりを繰り返す。N氏も登山道整備に参加され倒木を運ばれたとのこと、感謝です。

毘沙門堂で解散し各々が満開の桜を楽しみました。樹齢 150 年の紅枝垂れ桜のもと琴の生演奏もあり三味線・尺八が加わった「祇園小唄」では I 氏も一緒に熱唱！お疲れ様でした！

ヒヤリハットなし



山内

SL として、初めて体操をし、先頭を歩きました。YAMAP を見ながらも確認できていず、行程を間違えそうになると、メンバーの方が「こっちだよ。」と優しく声をかけて下さり、助かりました。2 回程、少し戻る場面があり、申し訳なかったです。

帰路には、かなりの倒木があり、台風の酷さや、大文字山の登山道を整備して下さっている有り難さを感じました。

下山後、毘沙門堂で、満開の桜の元、優雅な琴や尺八の演奏を聞くこともでき、充実した 1 日になりました。

多田

4 月初旬の晴れた日に、気持ちいい登山ができました。諸羽山から経塚山まで 6 つの山の登り下りを繰り返し、汗をいっぱいかいて、いいトレーニングになりました。またミツバツツジやアシビ、そして満開の桜や、野鳥の楽しそうな声にも心が癒された 1 日でした。ありがとうございました。





高山

最初は疎水ベリでの菜の花と桜と青空のコントラストの景色に見とれ、登山中は山桜やみつばつつじを見ながら、下山後は毘沙門堂で折しも開催されていた「春祭り」の箏曲の調べに聞き惚れながら、見事なしだれ桜を眺めるといふ、春満喫の登山となりました。下山道の倒木によるアスレチック下山もかがんだり乗り越えたりと変化に富んでおもしろかったです。

山本

京都に50数年住んでいるというのに、大文字山は送り火で見るもの、登るどころか麓近くまで行ったこともなく、今回はここ数年にはないこの時期に桜満開コースを歩くのも併せて楽しみな参加でした。個人的に当日の朝からアクシデント続きで、イヤな予感がするのを心落ち着かせ終始事故やケガがないよう意識しました笑。整備されているとは言え、あちらこちらアスレチックもどきではありましたが、コース的にはほとんど無理なく歩くことができ、青空と山の緑とピンクの桜、気持ち上がることしかなかった山行でした。毘沙門堂の桜も見事で、今度は秋の紅葉シーズンに歩いてみたいと思いました。

